

旭川未来会議 2 0 3 0

～障がい者スポーツ分野～

分野別会議の設定テーマ等



令和 5 年 5 月 2 3 日
福祉保険部障害福祉課障害事業係
観光スポーツ交流部スポーツ課

本日の連絡事項について

1 分野別会議におけるテーマ

2 分野別会議のスケジュール等

3 会議の運営等について

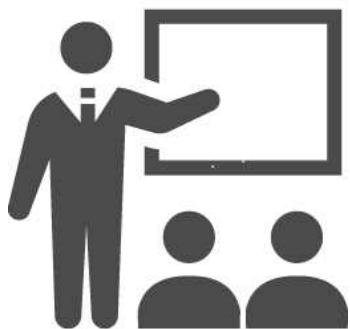
1

分野別会議におけるテーマ

旭川を世界に通用する障がい者スポーツのメッカに

【メッカを目指すのに必要な要素のイメージ】

どんな課題があるかな？
どういう取組が必要かな？



指導者・支援者の育成

競技環境の充実

競技者を支える
環境等の整備

競技者

トップレベルの選手育成や誘致

全日本・全道選手権をはじめ、
各種大会・合宿の誘致

障がい者スポーツ観戦機会の増加

市民の理解・支援

障がい者も健常者も共に参加できる
スポーツ機会の充実

目指す方向性

▶ 障がいの有無に関わらず，共にスポーツに取り組むという共生社会の理念を柱に据え，将来的に世界に通用する障がい者スポーツのメッカを目指した取組の創出や活動の支援策など，具体的な取組の内容を取りまとめる。



2

分野別会議のスケジュール等

第1回 6月中旬～下旬

SWOT分析を活用するなど、以下の内容を意見交換

- 市における取組の現状
- 現状分析，課題の抽出

第2回 7月中旬～下旬

ブレインストーミングを活用するなど、以下の内容を意見交換

- 2030年に向けたあるべき姿
- 課題解決に向けたアイディア
- あるべき姿実現に必要な要素

第3回 8月中旬

以下の内容を意見交換し，事務局で内容を整理

- 課題解決に向けたアイディア
- あるべき姿実現に必要な取組
- 報告会での発表の方向性

第4回 9月上旬から中旬

事務局で発表内容（案）を示し，最終報告における発表内容を精査

※ 1 SWOT分析

組織の強み（Strength）、弱み（Weakness）、機会（Opportunity）、脅威（Threat）の4つの軸から評価する分析手法の一つ

※ 2 ブレインストーミング

集団でアイディアを出し合うことによって、相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法

現状の把握

課題の整理

2030のあるべき姿を決定

あるべき姿実現に必要な要素等を整理

課題解決に必要な取組を整理

あるべき姿実現に必要な取組を整理

報告会での発表の方向性を整理

報告会での発表内容の整理と最終確認

3

会議の運営等について

分野別会議の進め方

進行役の決定



会議手法
(SWOT分析, ブレインストーミング等)
※各回の会議内容に合わせて決定



意見交換

事務局が行う作業

- 各種資料作成
- 会議録作成
- 会議進行の補助
- 報告書素案作成

